東京都立大江戸高等学校　平成２８年度　家庭科　年間授業計画

１．科目名　　家庭基礎　　２．講座名（単位数）　家庭基礎（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　　『家庭基礎　～パートナーシップでつくる未来～』（実教出版）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4 5 6 7	○オリエンテーション 「衣生活をつくる」 ・被服管理と着装 ・基礎縫いペンケース作り 【定期考査】 ○「消費行動を考える」 ○「経済的に自立する」 ・消費生活と生涯を見通した経済計画 ・ライフスタイルと環境 ○「生活設計」 ・生涯の生活設計 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ 【定期考査】	○科目の性格と目標を理解させる。 ○衣生活の実態に即した着装の注意を促す。 ○適切な被服管理の知識と技術を身につけさせる。 ○生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにする。 ○生涯を見通した自己の生活について考え、主体的に生活を設計できるようにする。	○評価の観点 ・出席状況 ・実習態度 ・実習記録 ・授業中の態度 ｱ、話を聞く態度 ｲ、意欲、関心を持った取り組み ｳ、知識、技術が身についたか ｴ、実践できるか ○期末考査 ○提出物 ・授業プリント ・課題作品 ・レポート ・報告書など ○自己評価	4 8 8 6
2学期	9 10 11 12	○「子どもとかかわる」 ・子どもの発達と保育 ・子どもの遊び 【定期考査】 ○「食生活をつくる」 ・食事と健康 ・調理実習 【定期考査】	○子どもを生み育てることの意義を考えさせるとともに、親、家族、地域、社会の果たす役割について認識させる。 ○食に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活が営めるようにする。		8 6 8 6
3学期	1 2 3	○「住生活をつくる」 ・住居と住環境 ○「自分らしい生き方と家族」 ・青年期の自立と家族、家庭 ○「高齢者とかかわる」 ・高齢期の生活 ○「社会とかかわる」 ・共生社会と福祉 【定期考査】	○住居に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、環境に配慮した住生活を営むことができるようにする。 ○各ライフステージの特徴と課題を理解させ、共生の重要性を認識させる。 ○高齢社会の現状と課題を理解させ、高齢者の自立支援と家族や地域の役割を考えさせる。 ○社会の一員として共生の重要性を認識させる。		6 6 4
				予定時数計	70